

## ■平成27年度 広報・広聴特別委員会活動報告

### 1. 今年度の活動経過

本特別委員会は平成23年度から設置されているが、今期においても昨年5月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んできた。

今年度は下表のとおり、議会活動報告会の開催に関する協議や、その他広報・広聴に関する協議を行った。

	開催月日	調 査 内 容
1	平成27年 6月15日	* 議会活動報告会の開催スケジュールに関する協議
2	6月25日	* 議会活動報告会の開催スケジュールに関する協議
3	7月 1日	* 今年度の活動方針に関する協議
4	7月 8日	* 今年度の活動方針に関する協議
5	7月17日	* 議会活動報告会の班編成、地区割当等に関する協議 * 新たな形で行う報告会のあり方に関する協議
6	8月11日	* 議会活動報告会の開催日・班構成に関する協議 * 大学生との議会活動報告会・意見交換に関する協議
7	9月 1日	* 大学生との意見交換会のテーマに関する協議
8	9月16日	* 議会活動報告会の資料に関する協議 * 議会活動報告会での要望等の取扱いに関する協議
9	12月 9日	* 議会活動報告会の反省 * 大学生との意見交換会の開催時期、内容に関する協議
10	平成28年 1月18日	* 大学生との意見交換会の班編成等に関する協議
	1月20日 1月21日	* 行政視察（山口県下関市、大分県大分市）
11	1月26日	* 大学生との意見交換会の資料に関する協議
12	2月10日	* 大学生との意見交換会の資料に関する協議
13	3月 1日	* 議会活動報告の開催日・会場に関する協議
14	3月22日	* 今年度の活動報告の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業6回、計20回委員会を開催

## 2. 先進地視察について

本委員会では、1月に山口県下関市と大分県大分市において、広報・広聴に関する議会の取り組み状況を調査した。

### ●山口県下関市

#### (1)議会インターネット中継

##### ①概要

下関市インターネットシティ整備事業の中の行政映像配信システムとして平成13年6月定例会の一般質問を試験的にライブ中継し、同年9月定例会からReal Playerによる本会議のライブ中継及び録画中継を開始した。

Real Playerを用いた視聴方法が年月を経るにつれて主流ではなくなり、専用のアプリケーションをダウンロードしなければ視聴できないことから、市民からも改善を求める意見が出されるようになった。そのような中、調査研究を行い、平成26年2月の本庁舎新館移転時から新たにスマートフォンやタブレット端末での視聴が可能となるよう、ライブ中継はUstream、録画中継はYouTubeによる無料配信サービスを利用した放映を開始した。

##### ②事業の効果

複数の委員会が同時に開催される場合でも会議が視聴可能であり、また、スマートフォン及びタブレット端末で視聴可能となったことから、以前よりサービスが向上したとして市民より概ね好意的な評価を得ている。

アクセス件数（平成27年1月～12月）については、ライブ中継が約15,100件、録画中継が約5,200件となっている。

##### ③今後の検討事項

Real Playerでのライブ中継及び録画配信を平成28年4月以降、廃止することに伴い、放映方法や録画データの処理方法が変更されるため、従事する職員がスムーズに作業できるよう、簡易マニュアルを整備する必要がある。

#### (2)市民と議会のつどい

##### ①概要及び実績

- ・平成24年4月から開始し、4年間で計5回実施している。
- ・議会運営委員会で内容や日程、会場選定を調整している。
- ・主な内容は、4つの常任委員会の活動報告であり、全議員が参加。
- ・開催案内のチラシなどは、議員自らが配布して周知している。
- ・発言内容に制限はなく、市長への要望などもある。

##### ②今後の検討事項

参加者のほとんどが、地元の年配者のため、学生や女性団体と実施してはどうかとの意見がある。そのため、大学生を対象とした報告会の実施を

検討中である。

### (3)議会だより

#### ①概要

昭和 47 年 9 月より、市報の一部に「議会だより」の枠を 2 ページ（8 月及び 1 月は 1 ページ）設け、毎月掲載している。

また、議会基本条例が平成 24 年 3 月に施行され、議会広報の充実が目的の 1 つであったことから、広報準備委員会を設置し、議会単独での発行を目標に協議を進めてきた。その結果、従来の市報での掲載に加えて、代表質問及び一般質問に特化した「議会だより特集」を 3、6、9、12 月の年 4 回、A4 版、4 ページ、オールカラーで市報のセンターページに挟み込む形で発行することとなった。

#### ②編集方法

##### 議会だより

- ・原稿は、各定例会における委員長報告をベースに事務局で作成し、広報所管課に提出している。写真撮影、紙面レイアウトは広報所管課、校正作業は事務局が行っている。

##### 議会だより特集

- ・代表質問特集は、紙面を各会派に割り当て掲載している。
- ・一般質問特集は、正副議長を除く 32 人の議員が同じ行数で年 1 回掲載されるよう紙面を割り当てている。
- ・一般質問を行っても原稿掲載の割り当てがない号については、質問項目のみ別途掲載。
- ・原稿及び写真については、掲載予定議員及び議会広報部会の協議で担当となった議員自ら作成、撮影し、事務局で取りまとめ、議会広報部会で確認している。

#### ③今後の課題

事務局の編集による「議会だより」が市報に毎月掲載された上で、議会広報部会の編集による「議会だより特集」が 3 ヶ月に 1 回市報のセンターページに挟み込まれているが、このような議会報の発行形態は全国的に例がない。発行形態の見直し、今後の検討課題と考えている。

## ●大分県大分市

### (1)市民意見交換会

#### ①概要及び実績

- ・平成 20 年 7 月より開始し、市内 13 ヶ所の地区公民館等で年 1 回ずつ開催している。
- ・時間は 1 時間 30 分とし、日程や場所、テーマなどすべてを毎年「議会活性化推進会議」で協議し、議会運営委員会で決定している。
- ・出席議員の構成は、5 つの常任委員会、活性化推進会議、推進チーム、地元の議員を中心に構成している。
- ・意見交換会の広報は、議会だより、議会ホームページ、ポスター掲示等

の他に、いかに持ち帰ってもらうかを考え、ティッシュにチラシをはさんで、街頭配布している。

- ・ 質問に対する答弁は、議会としての答弁を心掛けている。個別的な事案の対応は臨機応変に行うが、議員個人に対する質問は受け付けない。市民の質問は、1人につき2回までとしているが、質問者がいない場合は、その都度受け付けることにしている。

## (2) 若年層との意見交換

- ・ 若年層の政治参加意識を喚起することを目的に、平成23年度から取り組み、今年で5年目になる。
- ・ 今年度は4校で実施。高校、大学、専門学校で区分し、各区分1校以上で実施することとしている。会場は各校となる。
- ・ 特にテーマを設けず、フリートーク形式で実施している。
- ・ 市民意見交換会と違い、質問の回答は基本的にその場で対応することとしている。
- ・ 出席議員は、活性化推進会議の議員を中心として、希望する議員が参加している。人数は10名程度。
- ・ 若年層との意見交換の内容は、議会ホームページでも公表している。

## (3) 議会だより

- ・ 昭和49年5月から年4回、単独発行している。
- ・ 平成20年7月に開催した市民意見交換会において、市議会だよりの記載方法について要望が出され、平成21年3月から外部の専門家2人を交えて見直しに着手した。
- ・ A4版、オールカラー、12ページ（代表質問の議会時は16ページ）で発行している。
- ・ 点字版も発行し、ホームページにはPDF形式で掲載している。
- ・ 一般質問は5ページとして、一般質問者の数で均等に割り振る。一般質問者数が決定次第、行数を確定する。

## (4) 議会中継

- ・ インターネット、ケーブルテレビ共に本会議(定例会・臨時会)のみ放映。
- ・ インターネットによる議会中継は、生中継を平成16年12月、録画放送を平成19年9月から導入。編集や配信業務等は事務局職員が行う。市議会のホームページにて平成19年第2回定例会分から視聴可能であり、YouTube、Ustream等には対応していない。
- ・ ケーブルテレビによる議会中継は、生放送、録画放送ともに平成18年9月から導入。ケーブルテレビ会社は3社あり、1社が録画放送のみ、その他2社は生中継のみ。
- ・ 平成26年度のアクセス件数は、生中継2,877件、録画放映1,835件である。

### 3. 重点調査事項について

#### (1) 議会活動報告会

この取り組みは、平成 25 年度から実施しており、平成 27 年度は、9 月定例会後に 6 地区で開催した。なお、28 年 4 月に 5 地区で開催する準備を進めているところである。

#### ●開催場所・参加者数(人)

議会活動報告会開催実績

開催地区	日程	会場	参加者数
川中地区	平成 27 年 10 月 14 日	延岡市社会教育センター	17 人
南浦地区	平成 27 年 10 月 14 日	ビーチの森すみえ管理棟	10 人
島浦地区	平成 27 年 10 月 14 日	延岡市島野浦島総合開発センター	26 人
北方地区	平成 27 年 10 月 15 日	北方コミュニティセンター	51 人
北浦地区	平成 27 年 10 月 15 日	延岡市北浦公民館	31 人
北川地区	平成 27 年 10 月 15 日	北川町ほたるの宿	25 人
合 計			160 人

#### ●アンケート結果

報告会への参加回数は	初めて	2 回目	3 回以上	無記入
	47.5%	19.4%	31.7%	1.4%
内容は良かったか	はい	いいえ	-	無記入
	82.7%	3.6%	-	13.7%
時間は適当だった	はい	長かった	短かった	無記入
	88.5%	1.4%	2.9%	7.2%
また来てみたい	はい	いいえ	-	無記入
	84.9%	4.3%	-	10.8%
ケーブルテレビでの議会中継や FM ラジオ放送を視聴したことは	ある	ない	-	無記入
	46.8%	46.8%	-	6.4%
広報紙「議会だより」を読んだ ことは	ある	ない	-	無記入
	91.4%	3.6%	-	5.0%
開催をどのような方法で知 りましたか	地区の回覧	P T A	市ホームページ	知人の案内
	49.6%	1.4%	2.2%	17.3%
	その他	無記入		
	18.7%	10.8%		

<p>報告会での意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑、応答に際し、非常にスムーズに答えていただき良かった。</li> <li>・ たくさんの方が質問して良かった。</li> <li>・ 市民の声を聞く場として、今日の報告会は良い機会だと思う。</li> <li>・ 具体的に内容説明があるので、分かりやすい。</li> <li>・ 住民に密着していない。</li> <li>・ 報告内容について、もう少し詳しく説明してほしい。</li> <li>・ 懸案事項も多数あるが、過去の報告会でも何となく「承りました」程度の回答で、「それならこうします」というような具体的なことにはならない。</li> <li>・ 参加者が少ない。対策をもっと真剣に考えなければ、この報告会もあまり意味のないものになるのではないかと危惧している。</li> <li>・ 開催回数を増やしてほしい。</li> <li>・ 開催時期の検討をお願いしたい。</li> <li>・ 地域住民に対してPR不足だと思う。もっとPRして議会の活動を多くの人に理解してもらおうべきと考える。</li> <li>・ 先進地視察と言われたが、何を見に行くのか。延岡市には何か見に来てもらえるものがあるのか。</li> <li>・ 議員定数の削減をしてほしい。</li> <li>・ 市のために仕事をしてください。</li> <li>・ スポーツ施設整備は駐車場も含めて考えてほしい。土、日は西階陸上競技場周辺に集中すると路上駐車が増え、通行が危ない。</li> <li>・ 少子化対策、子育て支援について、小児医療費の助成を通院についても小学校6年生まで拡大していただきたい。</li> <li>・ 道路を整備してもらったが、5月完成でもう修理している。波打つ道路で事故発生も気になる。検査はどうなっているのか。</li> </ul>
----------------	--

## (2)若年層との意見交換会

若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考とすること及び議会に親近感を持ってもらうことを目的として、今年度から新たに始めた取り組みである。今回は、九州保健福祉大学の学生と行き、若い視点、また、市外出身者の視点で市政について様々な意見が出され、活発な意見交換が行われたところである。

<p>交換会での意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡市のことを良く知ることができた。</li> <li>・今後またこういう機会があれば参加したい。</li> <li>・学生としての意見を伝える機会があり、良かった。</li> <li>・貴重な体験ができた。</li> <li>・大学の周りに学生向けの施設、遊び場が増えるとよい。</li> <li>・交通手段を増やしてほしい。</li> <li>・九保大と連携して、街をあげて1つの大イベントを毎年行い、盛り上げるべきだと思う。</li> <li>・自然豊かな市であるが、遊べるところがあったほうがよい。</li> <li>・市は様々な取り組みを行っているが、情報があまり伝わらない。</li> </ul>
----------------	--

### (3) 議会だより

本委員会では平成 27 年 5 月に本特別委員会を設置した後、読まれる議会だよりを目指して、調査研究を重ねてきた。今年度の改善点は以下のとおりである。

#### ① レイアウトの改善

一般質問の質問項目に関して、掲載、未掲載がわかるような表現に改めた。

## 4. 1 年間の活動を振り返って

### (1) 議会活動報告会

開催地区の区長への案内文書の配布やホームページ、行政防災無線等を活用して周知を行ったが、PR不足との意見もあることから、より多くの方に参加してもらうための工夫が必要である。

また、この取り組みに関する内容については、資料の見直し等、適宜改善を行った結果、開始当初に比べ中身の濃いものになってきたが、市民が何を求めているかという視点を一層意識しながら、見直しを行っていく必要があると考える。

さらに、この取り組みは、議会にとって貴重な広報広聴の場であることから、今後も開催地区や会場など、必要に応じて見直しを加えながら取り組んでいく。

### (2) 若年層との意見交換会

今回は、九州保健福祉大学の学生 40 人が参加し、議会の仕組み等についての説明を行った後、3 班に分かれて意見交換を行った。

議会活動報告会とともに貴重な広報広聴の場であることから、今後も続けていく予定であるが、開催形式及び周知方法等の検討が必要である。

### (3) 議会だより

これまでの本特別委員会での協議により、紙面づくりについては、改善されてきたところである。

今後は、読みにくいとの意見もあることから、文字の書体や大きさ等を検討し、さらに読みたくなる議会だよりになるよう、努めていく必要があると考える。

(4)今後の方向性

現在、本会議の一般質問等に関しては、ケーブルテレビ及びFMラジオによる生中継を行っているところである。

しかし、仕事などで中継を視聴することができない方は、自分で録画するなどの手段をとらない限り、後日視聴する手段がないという課題がある。

解決する方法の一つとして、インターネットを活用した録画配信が考えられ、全国的にも導入している自治体が増えてきている。

多くの情報発信手段を備えることにより、市民が議会に触れる機会が多くなることから、配信方法や費用対効果を十分検証しながら、導入に向けて取り組んでいきたい。